

# 月刊 工連ニュース

OKINAWA  
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

2017年 県産品奨励月間標語  
第41回 沖縄の産業まつりテーマ

「すぐりむん 暮らしにキラリ 県産品」

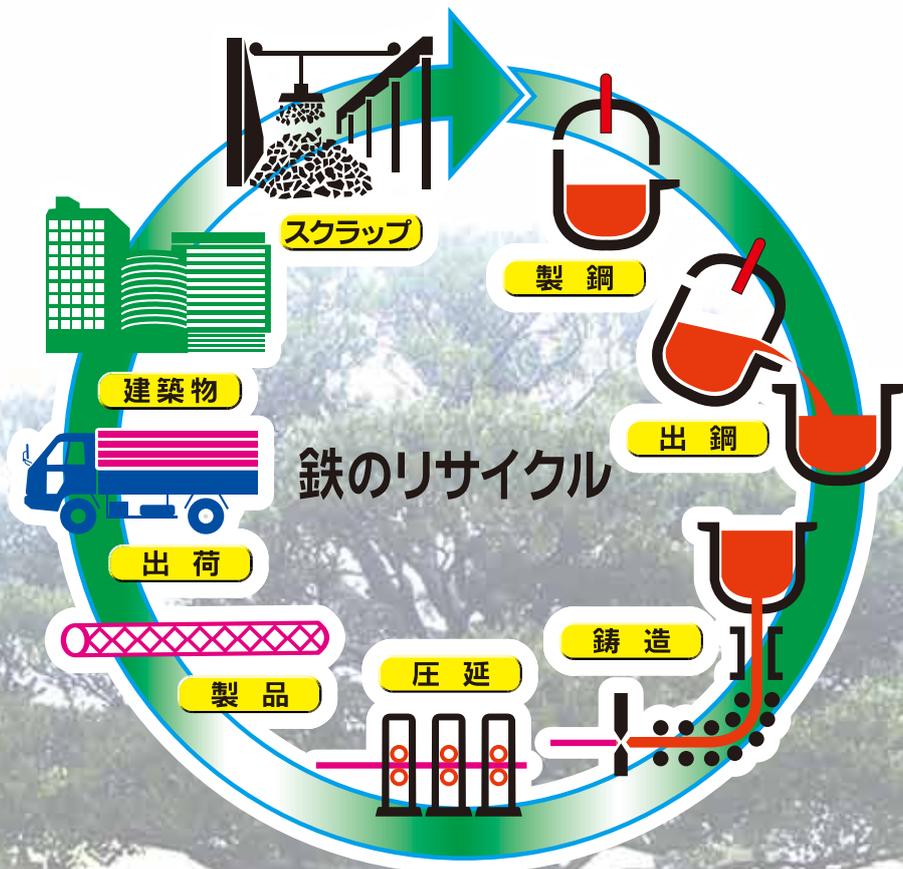
沖縄を興すイノベーションとは

- ボイスシリーズ  
地域技術の発信拠点として  
沖縄県工業技術センター所長 古堅 勝也
- 「元気カンパニー」(株)沖坤
- 2017年 県産品奨励月間標語・工連表彰等受賞者決定
- 平成29年度 新入社員研修セミナー開催

2017  
5月号

Vol.630

# つまんちゆのチカラ。



鉄のリサイクル

資源には限りがあります。鉄も大事なりサイクル資源です。  
鉄のリサイクルを始めて半世紀、これからも  
沖縄経済の発展に寄与するとの使命感と、  
ゼロエミッション社会の実現のため邁進してまいります。



**拓南製鐵株式会社**  
<http://www.takunan.co.jp>

本社：沖縄県那覇市壺川3丁目2番地4(拓南ビル3F)  
TEL098-832-0588 FAX098-832-0586  
新中城工場：沖縄県沖縄市海邦町3番26  
TEL098-934-6822 FAX098-934-6833  
石灰工場：沖縄県名護市字安和西部間2656-2  
TEL0980-53-8018 FAX0980-53-8067

月刊 **工連** ニュース 5月号 Vol.630

- 2p ▶ voice vol.111  
**地域技術の発信拠点として**  
沖縄県工業技術センター所長 古堅勝也
- 3p ▶ **2017年 県産品奨励月間標語決定**  
**工連表彰等受賞者決定**
- 4p ▶ **第51回 オグレスビー氏工業功労者賞**  
**および工連表彰受賞者**
- 5p ▶ **平成29年度 新入社員研修セミナー**  
(公社) 沖縄県工業連合会
- 6・7p ▶ **キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」**  
**メイドインオキナワの**  
**強みを活かし海外市場拡大**  
(株) 沖坤(おきこん)
- 8・9p ▶ **平成29年度 ものづくり産業及び**  
**海外展開に関する支援事業説明会**
- 10p ▶ **「オグレスビー氏産業開発基金・奨学金」**  
**授与式**  
沖縄工業高等専門学校
- 11p ▶ **拓伸会 故 古波津清昇・桂子ご夫妻**  
**お別れ会**
- 12p ▶ 琉球大学工学部後援会からのお知らせ  
**接着接合体の解析法およびはく離破壊**  
**の評価について**
- 13p ▶ 沖縄高专だより  
**沖縄高专イベント紹介**  
～「平成28年度沖縄工業高等専門学校教育・研究情報交流会」を開催しました～  
～公開講座「ミニロボットフェスティバル」を開催しました～
- 14p ▶ 沖縄職業能力開発大学校  
**平成30年度応用課程**  
**事業主推薦による学生募集のご案内**
- 15p ▶ 工業技術センターだより  
**沖縄県工業技術交流センター**  
**(講堂・会議室等)を利用しませんか?**
- 16p ▶ トピックス  
**沖工連青年部会 会員募集**  
**会員募集のご案内**  
**会員の皆様へ**

2017年 4月 工連日誌

- 5日(水) 4月定例執行部会  
●時間/10:30～11:50 ●場所/ホテルロイヤルオリオン  
平成29年度総務委員会  
●時間/12:00～13:30 ●場所/ホテルロイヤルオリオン
- 13日(木) 県産品奨励月間 標語選定審査会  
●時間/10:00～12:00 ●場所/沖縄産業支援センター
- 14日(金) ものづくり産業及び海外展開に関する支援事業説明会  
●時間/13:30～16:30 ●場所/県工業技術センター
- 19日(水) 平成28年度事業の会計監査  
●時間/11:00～12:00 ●場所/工連会議室
- 20日(木) 県産品奨励月間 ポスター製作説明会  
●時間/11:00～11:30 ●場所/沖縄産業支援センター
- 24日(月) 5月定例執行部会  
●時間/12:00～13:30 ●場所/ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
- 28日(金) 平成29年度 新入社員研修セミナー  
●時間/9:30～15:30 ●場所/沖縄産業支援センター

知財総合支援窓口運営業務

# 知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

相談  
無料

秘密  
厳守

個別対応のため予約が必要です

## ワンストップサービス

- 知財専門家が窓口へ常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの掘り起こし
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

中小企業・個人事業主・創業予定の個人の皆さまの特許、実用新案、意匠、商標、著作権等に関するご相談を無料で受け付けております。

※ご相談いただいた内容が第三者に知られる事はありません。  
※詳しい日時に関してはお問合せください。

- うるま窓口(うるま) 毎週月～金(祝祭日を除く)/9:00～17:00
- 外部窓口(那覇) 毎週火・水(祝祭日を除く)/9:00～17:00
- 外部窓口(名護) 毎月第4火曜日/9:00～17:00
- 外部窓口(宮古) 奇数月第4金曜日/10:00～17:00
- 外部窓口(八重山) 偶数月第4金曜日/10:00～17:00

まずはお気軽に  
ご連絡ください!!



全国共通お問い合わせ先



**0570-082100** (有料) **TEL 098-995-8778**

■ 独立行政法人 工業所有権情報・研修館事業/  
実施：一般社団法人 沖縄県発明協会

公益社団法人 沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

● 工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。

E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会

那覇市字小嶽1831-1 沖縄産業支援センター6F

電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193

編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

## 地域技術の発信拠点として



沖縄県工業技術センター所長

古堅勝也

沖縄県工業連合会並びに会員の皆様には、日頃より沖縄県工業技術センターの利用並びに業務運営にご協力を賜り感謝申し上げます。

当センターは平成28年度に策定した中期計画に基づき、技術支援の充実、県内企業のニーズに即した研究開発、高度な技術力を有する人材育成等に現在取り組んでおります。はじめに、県内企業から頼りにされる「技術のよりどころ」として、県内製造業が抱えている技術課題の解決を図り、生産性・製品品質の向上、及び新技術・新製品の開発のための、技術相談・指導、機器の開放、技術情報提供などの技術支援や共同研究を行っております。

具体的な技術相談・指導の事例として、製品の検査室立ち上げ支援、不良

品の原因究明とその対策支援、金型製作前の試作品の製作支援などがあります。また、共同研究として、真空成形技術を用いて、これまで県内で製造できなかった餃子トレイのような食品容器の生産や、壺屋焼陶器原料の安定した品質の生産などの事例があります。当センターのホームページにて様々な技術支援事例や開放機器を紹介しており、今後の事業展開にご活用ください。また、技術支援の強化として本島北部や離島地域への企業訪問や海外展開を目指す県内企業への技術支援を一層進めていく計画です。つぎに、県内企業の「研究室」としての機能を果たすべく、伝統的な技術である泡盛の仕次ぎについて、時間的効果、混合効果等の影響を、香気成分の変化やまろやかさの測

定など科学的なアプローチをしています。また、健康・医療分野の研究開発として、当センターが保有する県産生物資源ライブラリーや機能性評価をまとめたデータベースのサンプルの更新、追加と、生活習慣病、美容、QOL維持など市場のトレンドに対応した新規の機能性評価（抗肥満活性など）を行い、健康食品製造業等への情報提供や新製品開発へ活用します。環境・エネルギー分野の研究開発として、バイオマス資源（糖蜜、小麦澱粉等）を用いて、沖縄の環境中から採取・選抜した微生物による発酵により、高付加価値な光学活性有機酸の大量培養・精製技術の研究開発や、機能性食品や化粧品原料、機能性樹脂、試薬添加剤等への用途開発を実施しています。また、プレス加工技

術、押出成形技術、精密切削加工技術などの基盤技術を蓄積しサポーター産業の振興を図るため、金型技術研究所センターで電動車（施設内を走るミニユニビークル）のモーターやコントローラーの開発に取り組んでいます。高度な技術や専門知識を有する人材育成については、衛生管理、機器分析手法、溶接技術、釉薬に関する講習会の開催や、金型技術に関連する加工技術に関する講習会・研究生受入を実施します。

沖縄県工業技術センターは、その基本理念でもありますが、地域技術の牽引車、開かれた研究機関、地域技術の交流広場、技術情報の発信拠点として、皆様方にご活用いただきますようお願い申し上げます。

## 2017年 県産品奨励月間標語決定

# 標語 「すぐりむん暮らしにキラリ 県産品」

「2017年県産品奨励月間」標語選定審査会が4月13日(木)、沖縄産業支援センターで行われた。

7月1日からスタートする同事業は、県産品の愛用を啓発し、地場産品を使用することにより産業の振興・活性化はもとより、雇用の創出については県経済の発展に寄与することを目的に実施します。

今年は、528点の標語の応募があり、9名の審査委員で構成された選定審査会の下、「すぐりむん暮らしにキラリ 県産品」が最優秀賞に選ばれた。

審査委員からは、「県産品と日常の暮らしの結びつきがイメージしやすい表現となっている」、「優れた県産品が日々の生活に豊かさや輝きを与えてくれるというイメージが伝わってくる」、「県産品の良さを沖縄方言と音感によりバランス良く表現されている」、「キラリという言葉が日々の暮らしの中での新鮮さや上質さを表現している」などの講評があった。最優秀賞に選ばれた標語は、10月に開催される「第41回沖縄の産業まつり」のテーマとしても使用される。

### 最優秀賞 1点

「すぐりむん暮らしにキラリ 県産品」

■ 富盛 健児／那覇市在

### 優秀賞 2点

「うちのーの 未来を育む 県産品」

■ 当真 宏幸／沖縄ダイカポリマー(株)

「まーさむん すぐりむん 県産品」

■ 上里 利恵子／沖縄県職員厚生課

### 奨励賞 3点

「美ら島と アジアをつなぐ 県産品」

■ 山田 敏之／沖縄三協立山アルミ(株)

「うちのーの 未来支える 県産品」

■ 山下 健太／海洋プランニング(株)

「島心(しまぐる) ひろがる笑顔 県産品」

■ 新城 由貴／(株)サン・エージェンシー

### 標語選定審査委員 (順不同)

松永 勝利 [(株)琉球新報社 編集局次長兼報道本部長]

与那嶺一 枝 [(株)沖縄タイムス社 編集局次長]

喜屋武 静子 [(一社)沖縄県婦人連合会 理事]

友寄 千成 [沖縄県農業協同組合 農業統括部長]

高岡 義泰 [(株)リウボウインダストリー 店舗企画部長]

眞志喜 実 [(公社)沖縄県工業連合会 建材関連産業部会長]

座間味 亮 [(公社)沖縄県工業連合会 食品関連産業副部会長]

座喜味 肇 [沖縄県商工労働部ものづくり振興課班長]

桑江 修 [(公社)沖縄県工業連合会 専務理事]

## 工連表彰等受賞者決定 ～平成29年度総務委員会～

工連表彰及びオグレスビー氏工業功労者賞について審査を行う総務委員会(執行部及び各部会長で構成)が4月5日(水)那覇市のホテルロイヤルオリオンで開催された。

今年度の工連表彰には優良従業員賞に55社94名、優秀技能者賞に8社8名、創意工夫功労者賞に5社4名1グループの推薦があり、総務委員会の審査において、各賞の受賞者が決定した。また、沖縄の工業発展に功績のあった人材に贈られる第51回オグレスビー氏工業功労者賞は2名へ授与することが決定した。

審査で選ばれた受賞者には、平成29年6月6日(火)に開催する第33回定時総会で表彰式が行われ、その席で表彰状並びに記念品が授与される。

### オグレスビー氏工業功労者賞及び工連表彰審査基準

#### ■ オグレスビー氏工業功労者賞

- ① 企業を興し、成功した者。
- ② 新製品を開発して成功した者。
- ③ その経営する企業によって沖縄経済に大きく貢献した者。
- ④ 人格高潔なる者。
- ⑤ 工業関係団体の理事・監事を経験したか、或いは現職の者。
- ⑥ 他の経済団体・組合等で役員を経験した者。

#### ■ 優良従業員賞

- ① 永年勤続者(入社10年以上)で他の従業員の模範であること。
- ② 推薦の枠は従業員が50名以下は1名、50名以上は2名、500名以上は3名、1,000名以上は4名まで推薦可能。

#### ■ 優秀技能者賞

- ① 社内における優秀な技能の持ち主で、実績顕著な者であること。
- ② その技能において5年以上の経験者であること。
- ③ 技能を証明することが確認できること。
- ④ 推薦枠は1社1名。

#### ■ 創意工夫功労者賞

- ① 職場内における創意工夫功労者で、実績顕著な者であること。
- ② 創意工夫の内容と実績が確認できること。
- ③ 推薦枠は1社1名または1グループ。

※各受賞者は4ページに掲載しております。

# 第51回 オグレスビー氏 工業功労者賞および工連表彰受賞者

第51回  
オグレスビー氏工業功労者賞受賞者

新垣 昌光氏  
オリオンビール株式会社/代表取締役副社長

佐喜眞 保氏  
株式会社佐喜眞義肢/代表取締役社長

## ■優良従業員賞受賞者〔55社/94名〕

氏名	会社名
下門 一貴	(株)おきさん
津波古 修吾	東洋コンクリート(株)
田原 大介	東洋コンクリート(株)
富名腰 義敬	(株)ざまみダンボール
大城 清	(株)ざまみダンボール
蒲牟田 孝二	沖縄県生コンクリート工業組合
高良 貞則	(株)沖縄ゼネラルサービス
西垣 孝治	(株)沖縄環境保全研究所
角 一人	(株)沖縄環境保全研究所
玉城 勝	沖縄水工事(株)
大城 稔	沖縄製本(株)
松田 圭司	沖縄テクノクリート(株)
伊波 泰子	沖縄テクノクリート(株)
玉城 聡	琉球製罐(株)
饒平名 知幸	琉球製罐(株)
宮城 健栄	(株)石川酒造場
神谷 盛安	(株)キョウリツ
幸喜 世勇	(株)キョウリツ
濱里 正	沖電企業(株)
前加良 学	沖電企業(株)
嘉数 盛周	琉球協同飼料(株)
名城 利浩	沖縄ハム総合食品(株)
中曽根 禎浩	昭和製紙(株)
屋嘉比 康茂	昭和製紙(株)
比嘉 吉隆	沖縄プラント工業(株)
安座間 剛	沖縄プラント工業(株)
玉城 義和	(株)沖縄ホーム
友寄 秀敏	(株)沖縄ホーム
渡久地 政伸	リウコン(株)
糸数 あすか	リウコン(株)
新垣 和希	(株)久米島の久米仙
西原 一美	(株)久米島の久米仙

氏名	会社名
富原 優子	大和コンクリート工業(株)
古堅 和也	総合紙器(株)
大城 美幸	総合紙器(株)
仲宗根 晋也	沖縄ピーシー(株)
嘉手苺 晃	まさひろ酒造(株)
仲西 英夫	日乃出鉄工(株)
中村 修	(有)沖縄長生葉草本社
石橋 敏和	(有)沖縄長生葉草本社
宜保 毅	(資)沖縄関ヶ原石材
佐藤 康司	金秀アルミ工業(株)
天久 紀子	金秀アルミ工業(株)
浜比嘉 毅	オリオンビール(株)
平田 芳孝	オリオンビール(株)
金城 賀美	金秀鋼材(株)
玉城 寿昭	金秀鋼材(株)
東門 晃雄	沖縄電力(株)
石川 義行	沖縄電力(株)
与那覇 松成	沖縄明治乳業(株)
宮里 美智子	沖縄明治乳業(株)
内間 安彦	(株)サン・エージェンシー
安慶名 義秀	オキコ(株)
東 宏	オキコ(株)
嶺島 政昭	(株)沖電工
石川 英志	(株)沖電工
仲嶺 豊	(株)ナンポー
高安 夏子	光文堂コミュニケーションズ(株)
宮城 義雄	(株)嘉数グラビヤ
赤嶺 光代	(株)嘉数グラビヤ
赤嶺 隆男	丸正印刷(株)
鈴木 勝	丸正印刷(株)
泉川 寛	金秀鉄工(株)
前田 和宏	沖縄ガス(株)

氏名	会社名
宮国 宏樹	沖縄ガス(株)
玉城 盛康	拓南製鐵(株)
稲福 勇	拓南製鐵(株)
呉屋 孝弘	拓南商事(株)
親泊 清勇	拓南商事(株)
長田 朝達	拓南本社(株)
金城 俊浩	拓南製作所(株)
安里 敏	拓南製作所(株)
石川 進治	拓南製作所(株)
森山 悦子	農業生産法人(株)仲善
與那嶺江利子	農業生産法人(株)仲善
金城 博文	(株)仲本工業
金城 睦也	(株)仲本工業
比嘉 守真	(株)開邦工業
宮城 徳彦	(株)開邦工業
仲間 千佳子	(株)沖縄銀行
松田 徳子	(株)沖縄銀行
藤原 吉人	(株)沖縄銀行
島袋 剛	(株)沖縄銀行
池原 功二	オリオンサポート(株)
我那覇 崇	沖縄ツーリスト(株)
翁長 武史	沖縄ツーリスト(株)
喜納 咲代	沖縄ツーリスト(株)
島袋 豊	沖縄ガスリビング(株)
大山 かおり	(株)琉球銀行
外間 みのり	(株)琉球銀行
浜田 雅子	(株)琉球銀行
比嘉 紀江	(株)琉球銀行
野崎 真澄	(株)正広コーポレーション
上間 久嘉	(株)アドスタッフ博報堂

## ■優秀技能者賞受賞者〔8名〕

氏名	技術の名称・会社名
石川由美子	泡盛およびもろみ酢の品質管理および泡盛ブレンダー技能 ●(株)石川酒造場
徳山 毅	工場設備、保守、改善技能 ●沖縄ハム総合食品(株)
田中 徳栄	コンクリート二次製品工場における製造全般作業及び後方支援作業 ●大和コンクリート工業(株)
嘉手苺健一	ビール醸造に伴うエンジニアリング技術 ●オリオンビール(株)

氏名	技術の名称・会社名
瓦 ヨシ	みんさー織り袋物二次加工の製作 ●(株)あざみ
奥間 政光	和洋菓子製造技能 ●(株)ナンポー
眞榮城玄章	ポリエチレンフィルムのインフレーション成形 ●(株)嘉数グラビヤ
眞榮城玄竹	焼却プラントの保守・メンテナンス技術 ●(株)開邦工業

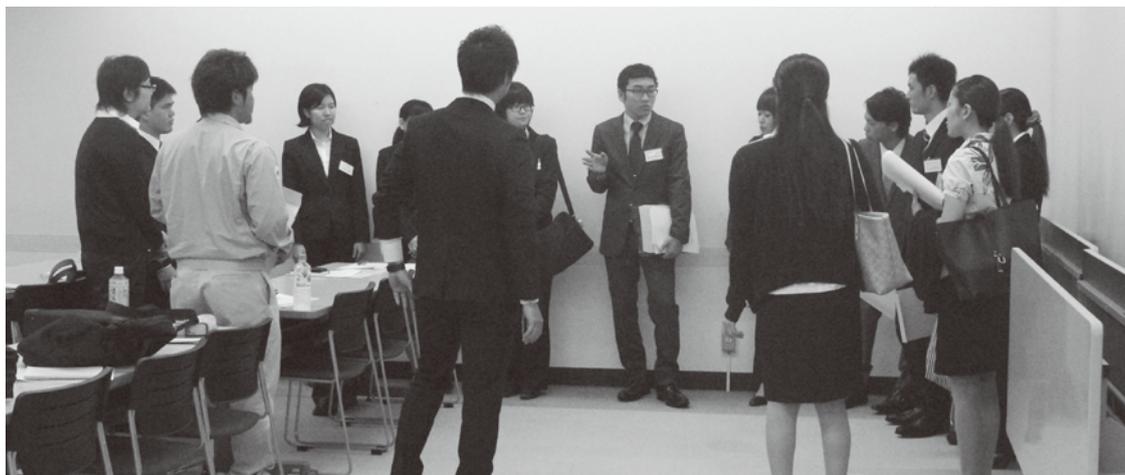
## ■創意工夫功労者賞受賞者〔1名/1グループ〕

氏名	技術の名称・会社名
砂川 司	ミニチュア(100ml)ビンの洗瓶装置の制作 ●(株)石川酒造場
比嘉 實	コンクリート型枠製作における独自開発 ●大和コンクリート工業(株)
五輪サークル	C-3ロールクラッシャー制御回路の見直し ●琉球セメント(株)

氏名	技術の名称・会社名
稲福 裕司	Fix ダミー改良による使用時間延長と消耗器具備品費の低減 ●金秀アルミ工業(株)
比嘉 政也	回転治具を使用した大型構造物の工場加工 ●金秀鉄工(株)

# 平成29年度 新入社員研修セミナー

平成29年4月28日(金) (公社)沖縄県工業連合会



沖縄県工業連合会平成29年度新入社員研修セミナーが4月28日、那覇市の沖縄産業支援センターで行われました。沖縄県の将来を担う新入社員が社員の心得とビジネスマナーを身につけることによって、社会人としての認識を高め、雇用を安定させることを目的に沖縄県工業連合会主催により毎年開催されているものであり、入社1年未満の若手社員たちが株式会社目加田経営事務所によるセミナーを受講しました。

参加者はセミナーを通し、社会人としての心構え、仕事の進め方、来客対応の心得、電話対応の基本等について学び、ビジネスマナートレーニングのカリキュラムでは、目加田経営事務所部長・チーフコンサルタント 根橋弘行氏、同所コンサルタント 知念諭氏の指導により、発声、名刺交換、電話対応のトレーニングを行いました。現代のビジネスシーンにおいて欠かすことのできないメールの作法については、新入社員も特に真剣な眼差しで取り組んでいました。

主催者を代表して挨拶した沖縄県工業連合会副会長・人材育成委員会委員長 仲田龍男氏は、「これからは激動の時代になる。生き残っていくためには、各分野のプロフェッショナルになる必要がある。夢を持ち、目標を立てて達成していくことが重要。自分自身の成長のためにもしっかりと学んでほしい」と将来ある新入社員を激励しました。

根橋氏は、今年度のセミナーのテーマを「Dreams Come True 夢は実現する」としており、夢と目標を持ち、失敗を恐れずに挑戦することの重要性を説きました。参加した新入社員たちは講演にしっかりと耳を傾け、グループ討議では企業の枠を超え協力し合ってプレゼン資料を作成する等普段の勤務ではなかなかできない体験に大いに刺激を受けたようでした。



(公社)沖縄県工業連合会副会長  
人材育成委員会委員長  
仲田龍男氏



株式会社目加田経営事務所  
部長・チーフコンサルタント  
根橋弘行氏



株式会社目加田経営事務所  
コンサルタント  
知念 諭氏



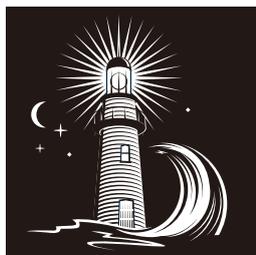
●台湾での展示会に出展



●「琉球の塗壁」の施工例



●県産素材の「琉球の塗壁」



## キラリ! 元気 カンパニー

沖縄の未来を  
照らす企業

# メイドインオキナワの 強みを活かし海外市場拡大

株式会社 沖坤（おきこん）

急発展する台湾・中国における  
日本製の高品質建材ニーズ拡大

株式会社 沖坤（おきこん）は昭和48年創立。コンクリート二次製品を中心に、公園施設関連資材、建築用内装材、外装材の製造・販売を行っています。

創業当時はおもに公共工事を手掛けていましたが、平成に入ってから、今後公共工事の受注が減少することを見越し、公共工事依存を避けて幅広い依頼主を確保するため、高品質の自社製品開発に力を入れてきました。

代表的な製品といえるのが、沖縄県産の自然素材にこだわった健康志向の壁材「琉球の塗壁」です。勝連トラバーチン、風化造礁珊瑚、コーラル、赤土、赤瓦等の素材をベースに、独自の無機固化技術によって製造。ホルムアルデヒド吸着効果、調温効果、アンモニア消臭効果、マイナスイオン生成効果等にすぐれ、シックハウス対策にも効果がある体にやさしい21世紀型壁材として評価され、平成18年度沖縄県推奨優良県産品にも選出されました。

沖縄の天然素材で作られていることから人気を博し、現在までに多くの住宅、ホテル等の施設で使用されています。発表当時はほとんどが県内での受注のみという状況でしたが、徐々に知名度が向上し、現在では総売上の約85%が県外から受注となっています。全体的な売上也上昇傾向にあることから、平成26年度からは新たな販

路を海外に求め、海外展開の第歩として、台湾での販売を開始しました。

「海外展開へ挑戦したい」という意欲は以前から持っていたものの、異なる文化を持つ海外での販売は難しいのではないかと不安があった」と代表取締役社長 宮城勝氏は語ります。しかし、沖縄県産の建材を世界に広めるための沖縄県の工業製品海外販路促進事業に採択され、アジア各国で開催される展示会へ出展するなど積極的に販促活動を進め、現在、台湾の大手企業と取引契約を結びまでに至りました。

自ら現地へ渡り商談を行った宮城氏は、「はじめのうちは言語や文化、商習慣の違いに戸惑い、なかなか前進しなかった」としながらも、台湾の展示会で現在のパートナーである現地企業と出会ってからは急速に前進。「琉球の塗壁」は現地で製造されている他製品と比較して高い値段設定にもかかわらず、販売開始直後から好調な売れ行きとなっています。

「経済発展が進んでいる中国・台湾といったアジア諸国では、新たな建築物も次々に建造されている。そこで注目されているのが、健康・安全にこだわった信頼できる建材。類似品は多く出回っているものの、やはり『日本製』というブランドの威力は大きい」と、現地での確かなニーズを実感した宮城氏は、「沖縄の美しい海は海外でもよく知られており、風化造礁珊瑚など、沖縄特有の材料を使用していることもプラスイメージとなっているようだ」とさらなる受注拡大

施工実績



●高強度コンクリート「Ductal(ダクトアル)」  
沖縄 IT 津梁パーク



●高強度コンクリート「Ductal(ダクトアル)」  
沖縄県警察運転免許センター



株式会社 沖坤(おきこん)  
代表取締役社長 宮城 勝



●琉球石灰岩風擬石壁材「琉紋」  
一般住宅(写真:上・下)



●高強度コンクリート「Ductal(ダクトアル)」  
八重瀬町役場

を見込んでおり、海外からの需要にも対応できる増産体制確立のための工場拡大・設備投資にも取り掛かっています。社員も増員し、台湾、中国での駐在所設置、語学堪能な現地担当者派遣等今後3〜4年で体制を整えたいとしています。

**県産品へこだわり  
独自商品生み出す**

その他にも、自然石風の趣ある琉球石灰岩風擬石壁材「琉紋(りゅうもん)」、超高度繊維補強コンクリート「Ductal(ダクトアル)」、勝連トラバーチン、コーラル、赤瓦、赤土等を材料とした植栽用鉢「はちやくみポット」等多くの自社製品を開発している株式会社沖坤。宮城氏と開発チームは毎月「度製品開発会議」の場を設け、互いにアイデアを持ち寄り、新たな商品開発に取り組んでいます。

すべての商品に共通するコンセプトは「県産品としてのこだわり」であり、できる限り材料を県内で調達することを心掛けています。

「アジア諸国を訪問し現地での市場調査を実施して、安心・安全な高品質の建材を求める声が大ききことをあらためて実感した。これまで日本人が当たり前だと思っていたことも、海外では違うという現実。沖縄の天然素材にこだわった製品は今後ますます必要が高まっていくはず」として、「琉球の塗壁」に続くヒット商品を生み出す

すべく、研究開発に力を入れています。「琉球の塗壁」は人工的な顔料を一切使用していないため、豊富なカラーバリエーションを実現することはできないものの、グチャを加えることで高級感のあるグレーの壁を作る等、消費者のニーズに耳を傾けることも重視しています。

株式会社沖坤では、社員同士が日ごろからコミュニケーションを取り、アイデアが生まれやすい環境を作るため、社員旅行やグランドゴルフ大会といったレクリエーションも定期的に実施しています。研修にも全員で取り組み、スキル向上にも努めています。「社員ひとりひとりが充実した生活を送り、スキルを上げることのできる会社で利益も上げることができると。全員が共通の認識、目標を持って日々の仕事に向き合っていくことが重要であり、そんな会社を作りたい」と、宮城氏は語り、今後の躍進を誓いました。

株式会社 沖坤(おきこん)

- 業種  
コンクリート二次製品製造販売、公園施設関連資材企画・設計・製造・販売、建築用内装材、外装材製造販売
- 設立  
昭和48年2月
- 代表者  
代表取締役社長 宮城 勝
- 住所・連絡先  
沖縄県名護市字久志521番地6  
TEL.0980-55-2231  
FAX.0980-55-2468

Corporate Profile



# 平成29年度ものづくり産業及び 海外展開に関する支援事業説明会

主催：（公社）沖縄県工業連合会

日時：平成29年4月14日（金）

会場：沖縄県工業技術センター



沖縄県工業連合会主催による「平成29年度ものづくり産業及び海外展開に関する支援事業説明会」が4月14日沖縄県工業技術センターで開催されました。

沖縄県のものづくり産業の現状として、製造業比率が低く、県内総生産に占める製造業の割合が4.2%と全国平均の18.4%と比較して約4分の1となっており、また製造品出荷額も6,278億円と全国平均の約6兆2,147億円の約1割、数値は平成25年度と小額であることが課題とされています。

県内のものでづくり企業は中小零細企業が大部分を占めており、経営資源が乏しく、自社のみでの製品開発の取り組みが充分でないことや、ものづくりの基盤となるサポーターティング産業の集積が少なく、県内生産技術の高度化の立ち遅れ等が原因とされており、本県においては、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」として、ものづくり産業の振興と地域ブランド形成に力を入れています。

これまで重点的に取り組んできた地域資源活用による付加価値の高い製品開発に加え、感性価値を重視した製品開発、企業間連携・農商工連携の強化、ものづくり基盤技術の高度化、サポーターティング産業の育成、技術支援、人材育成、県産原材料の自給率向上、企業誘致等、その取り組みは多岐に渡ります。

このような状況の中、沖縄県工業連合会においても、ものづくり産業の発展、おもに海外展開に関する支援制度等の仕組みについて理解を深め、中小企業が積極的に海外展開に乗り出し、



【主催者挨拶】  
(公社)沖縄県工業連合会  
専務理事 桑江 修氏



沖縄県商工労働部  
ものづくり振興課製造産業班  
班長 座喜味 肇氏



沖縄県商工労働部  
アジア経済戦略課販路開拓班  
主任 池原 平氏



(写真左から)  
沖縄県商工労働部 企業立地推進課 立地企業支援班  
主事 伊禮雅也氏 主査 山城清貴氏 主査 比嘉 忍氏



内閣府沖縄総合事務局  
経済産業部政策課  
課長補佐 長嶺さおり氏



沖縄振興開発金融公庫  
融資第二部 中小企業融資第一班  
参事役 眞栄田哲弘氏



(公財)沖縄県産業振興公社  
経営支援部海外ビジネス支援課  
主査 中野貴也氏



(公財)沖縄県産業振興公社  
産業振興部産業振興課  
ハズオンマネージャー 永田慕史氏



JICA  
中南米部計画・移住課  
課長 松本 仁氏



JETRO沖縄  
石橋裕貴氏



(独)中小企業基盤整備機構  
沖縄事務所  
国際化支援アドバイザー 滝沢秀一氏



会場には、各種事業などの事例や関連情報が展示され、参加者の関心を集めました。

沖縄県の経済に刺激を与えることを目的に、今回の事業説明会を開催しています。

主催者を代表して挨拶した沖縄県工業連合会桑江修専務理事は、「海外から沖縄県を訪れる観光客は約200万人と他県と比較しても極端に多く、さらに那覇空港の第二滑走路が完成すれば物流の面においても大きく進化することが見込まれる。国際的なものづくり、販路開拓、物流事業が今後ますます発展することは明らかであり、こうした流れにうまく乗るためにも、支援制度を有効活用してほしい」と、海外展開への取り組みを呼びかけました。

説明会では、沖縄県商工労働部、内閣府沖縄総合事務局、沖縄振興開発金融公庫、沖縄県産業振興公社、JICA沖縄、JETRO沖縄、中小企業基盤整備機構沖縄事務所から担当者が登壇し、それぞれの持つ事業の内容について説明。海外展開を検討する事業者の質問に答える等、活発な意見交換も行われました。

沖縄県においては、ものづくり産業の目標値として、製造業品出荷額を10年後に現在(平成26年)より1,453億円増額となる5,600億円と定めており(石油製成品出荷額を除く)、目標達成のためには県内ものづくり企業の成長発展による貢献が必要不可欠です。

沖縄県全体のブランド力を高め経済を発展させるためにも、海外展開を中心とした企業努力が必要になります。これから到来するであろう激動の時代を生き抜き進化を遂げるためのヒントを得ることができる貴重な会となりました。

## 「オグレスビー氏産業開発基金・奨学金」授与式 ～沖縄工業高等専門学校～

沖縄高専では、4月2日(日)同校校長室において、平成28年度オグレスビー氏産業開発基金・奨学金の授与式が行われた。

同奨学生に選ばれた学生は、生物資源工学科の喜納こずえさん。当日は、呉屋工連会長より同校の安藤安則校長に委託を行い、その後、安藤校長より喜納さんへ奨学金が授与された。

オグレスビー氏産業開発基金は、沖縄の工業発展に大きく貢献した故サムエル・C・オグレスビー氏の貢献を永く祈念するために1987年に設立。

当基金では次世代を担う学生を対象に奨学金を交付している。



写真左:国立沖縄工業高等専門学校校長 安藤安則氏  
写真右:(公社)沖縄県工業連合会会長 呉屋守章氏



奨学生に選ばれた、生物資源工学科の喜納こずえさん。

### 【推薦内容】

入学以来、欠勤や遅刻がほとんどなく、自己管理を心掛けた規則正しい生活習慣が身についている。比較的大人しい性格ではあるが、野球部のマネージャーを務め、試験前にはクラスメートに勉強を教えるなど周りへの気遣いも見受けられ、クラスメートからの信頼も高い。

学業成績は入学当初から上位であり、2年生前期の成績は学科1位の成績です。一般科目と専門科目の全ての科目で上位の成績を修めている。これは、本学生の卓越した理解力と学修への意欲の高さによるものです。また、実験科目への意欲も旺盛で、得られた結果に対して専門書を調べ考察する能力が高いことは、提出されたレポートからも明らかです。

以上のことから、喜納こずえさんを学科全教員一致で、今回の奨学生に推薦します。

# 拓伸会

## 故 古波津清昇・桂子ご夫妻お別れ会

平成29年4月24日(月) ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

沖縄県内唯一の製鉄メーカー、拓南製鉄株式会社の創業者 古波津清昇氏が今年3月に逝去され、戦後沖縄の産業復興と工業近代化に貢献してきた功績を称え、故人を偲ぶための会が那覇市のANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューで行われました。前月には妻 桂子さんもお亡くなりになっており、「拓伸会 故 古波津清昇・桂子ご夫妻お別れ会」と銘打たれた会には経済界等から350名を越える方々が集いました。

生前交流があり、参加者を代表して挨拶した元沖縄県知事 稲嶺恵一氏は「拓伸会を一代で築き上げてきた人生には苦難も多かったはずだが、その類まれなる精神力で難題を解決してきた」と、故人の功績に敬意を表しました。

ご夫妻の長男であり、拓南製鉄株式会社代表取締役社長 古波津昇氏は、「父と母はどんなときも支えあい生きてきた。両親が70年かけて育ててきた会社をしっかりと受け継ぎ発展させていきたい」と述べ、大勢の参加者に感謝の意を表しました。

古波津清昇氏は拓南グループで構成する拓伸会を一代で築き、沖縄県工業連合会の第7代会長として83年から3期6年を務め、同会の社団法人化や県産品奨励運動の推進に大きく貢献。第1回オグレスビー氏工業功労者賞をはじめ多くの賞を受賞しており、会場には各賞の表彰状や記念品等数々の貴重な品が展示されました。これらの品々に囲まれ、それぞれに故人との思い出を語り合いました。



拓南製鉄株式会社 代表取締役社長 古波津 昇氏



元沖縄県知事 稲嶺恵一氏



故 古波津 清昇 氏にゆかりある様々な展示の前では、故人の功績を称える声も多く聞かれました。

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

## 接着接合体の解析法およびはく離破壊の評価について

宮崎 達二郎

(琉球大学工学部工学科機械工学コース・准教授 t-miya@tec.u-ryukyu.ac.jp)



### 1. はじめに

被着材と接着剤の界面ではく離が生じると、理想的な接着強度に達する前に界面破壊を起こす恐れがあります。高機能・高性能・高強度な接着剤が開発されていますが、接着接合部の信頼性を確保するためにははく離破壊を現象に基づいて合理的に評価する必要があります。

### 2. 特異応力場の強さ (ISSF) の解析法

はく離は被着材と接着剤の変形の不マッチによって生じる特異応力で引き起こされるので、その強度評価には界面端部の厳しさを代表した特異応力場の強さ (ISSF) がふさわしく、よく用いられています。ISSFは、有限要素法 (FEM) で直接求めることはできません。しかしながら、未知問題 (ISSFが求められていない問題) と基本問題 (ISSFが既に求められている問題) でメッシュパターンと材料組合せを揃えてFEM解析すれば、界面端部の応力の比から簡便かつ高精度にISSFを求めることができます。図1は接合丸棒の曲げを受ける場合を未知問題、引張りを受ける場合を基本問題としたFEM解析モデルの例です。

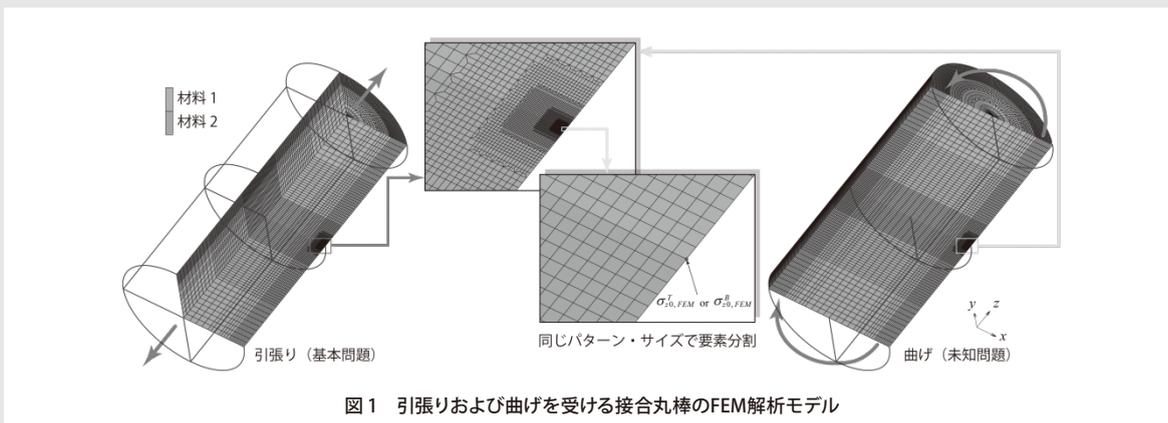


図1 引張りおよび曲げを受ける接合丸棒のFEM解析モデル

### 3. ISSFによるはく離強度の評価

図2は接着層厚さを変えながら行った突合せ継手の引張試験結果を(a)応力、(b)ISSFで整理したのになります。応力は接着層厚さによって変化していますが、ISSFは接着層厚さに関係なく一定で、試験片に依存しない値が得られています。このISSFの値は破壊じん性値に相当し、はく離破壊が生じるかの基準になります。

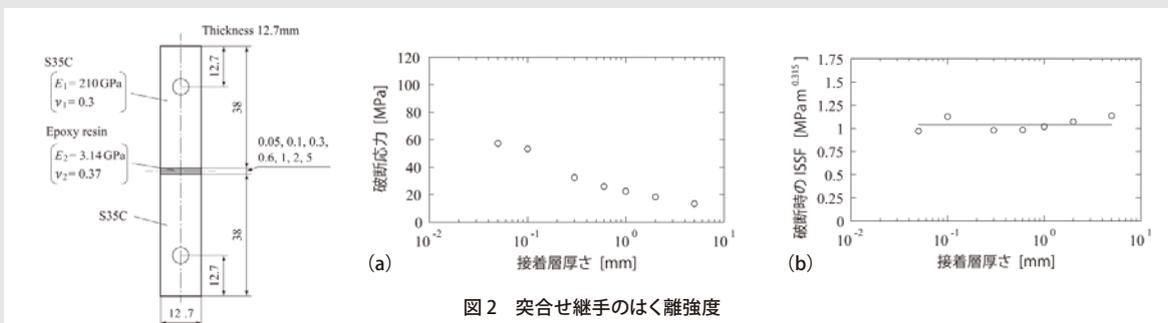


図2 突合せ継手のはく離強度

### 4. おわりに

今後は、静的強度だけでなく疲労強度などにもISSFによる評価が可能であるか検討していく予定です。

## 琉球大学工学部後援会事務局

工学部工学科内 天久和正(エネルギー環境工学コース)／神田康行(機械工学コース)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 TEL.天久和正(098-895-8624)・神田康行(098-895-8631)

FAX.098-895-8636(機械工学コース・エネルギー環境工学コース 事務局) 【E-Mail】kouenkai-office@ml.tec.u-ryukyu.ac.jp

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology

## 沖縄高専イベント紹介

沖縄高専では、地域社会のニーズに的確に応える高等教育機関として、地域の皆様に教育・研究活動を発信するとともに交流の場を設けております。  
今回は、3月に開催いたしましたイベントについてご紹介します。



### ～「平成28年度沖縄工業高等専門学校教育・研究情報交流会」を開催しました～

平成29年2月23日(木)に本校の講義室において「平成28年度沖縄工業高等専門学校教育・研究情報交流会」を開催しました。  
本交流会は、教育研究活動の活性化を図るとともに、教職員相互及び大学・研究機関等との教育研究・技術交流を推進し、本校における教育研究活動等を学内外に発信するものです。  
今年度は、沖縄工業高等専門学校国際会議発表支援制度を利用して研究発表を行った教職員3名と独立行政法人国立高等専門学校機構在外研究員制度を活用して米国及びスロベニアの大学に1年間派遣した教職員2名が発表を行いました。発表後には質疑応答があり、本校の教育・研究活動の活性化に向けて有意義な交流会となりました。

#### ●当日の発表内容と発表の様子

所属	氏名	役職	タイトル
機械システム工学科	下嶋 賢	准教授	「Report on Visiting Scholar」 マリボル大学におけるH26年度在外研究報告
技術室	渡邊 謙太	技術専門職員	「Report on Visiting Scholar」 ハワイ大学マノア校におけるH27年度在外研究の報告
情報通信システム工学科	藤井 知	教授	「マイクロ波を用いた超省エネ型金属酸化物還元プロセス」 Study on an Injection-Locked Magnetron
技術室	比嘉 修	技術専門職員	「Production of rice powder milling flour device and characterization by numerical simulation」 米粉製造装置の製作と数値シミュレーションによる特性評価
技術室	藏屋 英介	技術専門員・ 副技術長	「Report on participation in 47th International Symposium on EssentialOils (ISEO)」 47th International Symposium on Essential Oils (ISEO)に参加して

#### ●当日の様子



### ～ 公開講座「ミニロボットフェスティバル」を開催しました ～

地域の子どもに科学の楽しさを体験してもらうため、3月24日(金)にイオン名護ショッピングセンター(名護市)にて、本校と都城高専(宮崎県)の学生により企画された公開講座『ミニロボットフェスティバル』を開催しました。

当日は、都城高専との遠隔操縦によるミニロボット競技をはじめ、高専ロボコン地区大会に出場した本校のロボットの紹介やデモンストレーション、来場者によるロボット操縦体験を行いました。操縦体験では、学生が製作したロボットの仕組みについて熱心に質問したり、夢中になって操縦する多くの子ども姿が見られ、ロボットや沖縄高専に対する興味や関心を引き立てることができました。

#### ●当日の様子



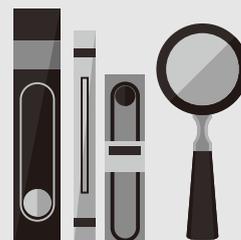
### 沖縄工業高等専門学校総務課研究連携推進室

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-55-4070(直通)・FAX:0980-55-4012  
E-mail: skrenkei@okinawa-ct.ac.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/>





## 平成30年度 応用課程 事業主推薦による 学生募集のご案内



沖縄職業能力開発大学校では、専門課程(大学の1・2年次相当)と応用課程(大学の3・4年次相当)で構成されています。応用課程では、既に企業で働かれている方の中で、一定の条件を満たす方につきましては、事業主推薦による受験が可能です。

### 応用課程とは

#### 【育成方針】

- 新製品の開発、生産工程の構築等に対応できる生産技術・管理部門のリーダー養成

#### 【主な特徴】

- 設計思想から加工/組立/検査まで、ものづくりの全行程を想定した講習
- 企業との共同研究等、実際の製品に近い課題製作を通じた実践的な講習
- グループの中で各自が専門性を発揮して課題に取り組むワーキンググループ方式

#### 【設置科(沖縄能開大)】

- 生産機械システム技術科・生産電子情報システム技術科・生産電気システム技術科

### 事業主推薦の対象科

#### 生産機械システム技術科(募集人員:若干名)

機械設計、機械加工や機械制御の専門的技術・技能を基にそれらを応用し複合化した領域で活躍できる人材の育成、並びに製品の企画・開発及び生産工程の構築・改善・運用・管理等に対応できる高度なテクニシャンエンジニアを育成します。

#### 応募資格

実務経験等により、当校の専門課程修了と同等以上の技能及びこれに関する知識を有すると認められる方で、事業主が推薦する在職者の方を対象とし、加えて、推薦企業に1年以上在籍し、応用課程修了後、推薦企業に継続雇用されることが確約された方。(例:生産現場で3年間勤務された方、機械系の大学を卒業された方、等)

#### 入校試験について

##### 【選考方法】

書類審査及び面接

##### 【書類受付期間】

平成29年6月14日(水)～6月23日(金)

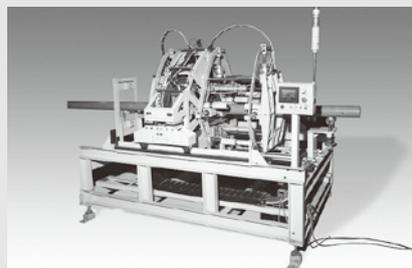
##### 【面接試験日】

平成29年7月5日(水)

#### 応用課程で開発された装置 ※()内は課題をご提供頂いた企業名



ガストーチを用いた自動切断装置  
(拓南製鐵株式会社)



ライン同期型パイプ穴開け装置  
(沖水化成株式会社)

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 **沖縄職業能力開発大学校**(学務課:西・本山)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-4808 FAX. 098-934-6287

●ホームページ <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>



# 工業技術センターだより

## Okinawa industrial technology center



<伸びゆく沖縄・支える技術>

### 沖縄県工業技術交流センター(講堂・会議室等)を利用しませんか?

工業技術センターでは、県内企業向けに技術交流センターを開放しています。(工業技術センター2階交流棟) 各種講演会や式典、社内研修、発表会等に下記施設をご利用ください。来客者用駐車場(無料)も約100台分利用可能です。

- ① 使用時間: 午前9時～午後5時
- ② 休館日: 土曜および日曜日、祝祭日、6月23日、12月29日～翌年1月3日
- ③ 申込み: お電話にて予約状況を確認の上、使用予定日の2週間前までに「沖縄県工業技術交流センター使用許可申請書」を提出してください。(センターホームページからダウンロードできます。)

●お問い合わせは 工業技術センター企画管理班 TEL 098-929-0111 まで

### 施設概要

講堂



面積	362㎡
収容人数	200名(椅子のみ) 120名(机及び椅子)
使用料	4,030円/1時間あたり
冷房使用料	1,000円/1時間あたり

技術交流サロン



面積	68㎡
収容人数	16名
使用料	600円/1時間あたり
冷房使用料	240円/1時間あたり

研修室



面積	64㎡
収容人数	30名
使用料	600円/1時間あたり
冷房使用料	400円/1時間あたり

会議室



面積	67㎡
収容人数	30名
使用料	600円/1時間あたり
冷房使用料	400円/1時間あたり

※研修室と会議室はつなげて利用することが可能です。その場合、使用料1,200円、冷房使用料800円(いずれも1時間あたり)となります。

沖縄県工業技術センターは県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発への支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

### 沖縄県工業技術センター (技術支援班/企画管理班)

〒904-2234 沖縄県うるま市宇州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115  
E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp (メルマガを始めています。HPより登録ができます。)

●ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html>

## OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS TOPICS

## 沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会 費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会 員 数 / 20名(2017年4月現在)



お問合せ先:公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:川満)

## 公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約350社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

## 会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



## 会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新品の紹介などに積極的にご利用下さい。

## ●お問合せ先

公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当:川満

掲載  
無料

日本のみらいをつくる若者たちの留学をオールジャパンで応援する。

# 官民協働海外留学支援制度

沖縄の若者の海外留学促進のためのご支援のお願い

## 沖縄からアジアへトビタテ！ 留学JAPANプロジェクト

グローバル人材の育成は、今後の日本の経済成長を支えていく上で喫緊の課題となっています。特に、日本人学生の海外留学経験者の減少に歯止めをかけ、我が国の未来を支える若者たちが、社会に出るまでに日本と異なる文化・社会に飛び込む環境を整えていくことが必要であるという認識が経済界を中心に広がっています。

沖縄県においても「沖縄21世紀ビジョン」の基本理念に謳われている、時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支えあう平和で豊かな「美ら島」おきなわを創造する、グローバル人材の育成が求められています。

沖縄県、内閣府沖縄総合事務局、県内企業、県内大学、短期大学、高等専門学校（大学コンソーシアム沖縄）が協力して設置しました「沖縄産学官協働人材育成円卓会議」を受け皿として、沖縄地域全体で学生の海外留学（テーマに即した海外留学及び地域企業等でのインターンシップを組み合わせた留学）を支援する仕組みを築き上げ、昨年は名城大学、琉球大学、早稲田大学、近畿大学の県出身学生8名をアジアへ派遣することができました。

平成29年度においても、将来、沖縄の経済社会を担いグローバルに活躍する意欲と能力のある若者たちが、積極的に海外留学ができるよう、皆様からご支援いただけますようよろしくお願い申し上げます。

沖縄産学官協働人材育成円卓会議代表 国立大学法人琉球大学長 大城 肇

### ◎トビタテ留学 JAPAN (地域人材コース) とは

民間企業からの御支援、御寄附などより官民協働で、地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材を育成し、そこで輩出されたリーダーが地域に貢献することで、人材育成と貢献の循環が出来上がることを目的とするプログラム

### 御寄附の払込み方法についての連絡先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課

「一般社団法人大学コンソーシアム沖縄」事務担当 宛

Tel : 098-895-8030

Fax : 098-895-8185

E-mail : kntikicho@to.u-ryukyu.ac.jp



本事業は、皆様からのご寄付で成り立っています。意欲と能力のある学生が十分な学びを得られるよう、本事業の目的を御理解いただき、温かい御支援をお願いします。

※本プロジェクトは、法人格を有する団体が事業を管理する必要があるため、沖縄産学官協働人材育成円卓会議の会員である「一般社団法人大学コンソーシアム沖縄」が担当します。ついては、寄附金の管理業務は一般社団法人大学コンソーシアム沖縄の事務を担当する琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課において行います。

県内唯一!

# サッシ形材製造



沖縄の気候風土に合った製品を提供!



輻射式冷暖房装置の開発

ECO FACTORY  
FUTURE INNOVATIONS



輻射式冷暖房装置の製造

秀 金秀アルミ工業株式会社



輻射式冷暖房装置と対流式高性能エアコンの融合型



## ecowin HYBRID

エコウィン ハイブリッド

沖縄で「省エネ性」と「快適性」が高いワンランク上の涼しさを実現

秀 金秀アルミ工業株式会社  
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100  
営業本部 098-835-8101・8102  
生産本部 098-835-8104・8105